

令和8年度から、専攻の区分「作業療法学」の修得単位の審査の基準を改正します。改正後の審査基準による学位授与申請の受付は、令和8年度4月期からとなりますので注意してください。

専攻の区分	専攻分野の名称
36 作業療法学	保健衛生学

作業療法とは、身体や精神に障害のある人が主体的な社会生活を獲得するために、様々な機能の回復・維持および開発を促す作業活動を用いて、治療、訓練、指導および援助を行う手法であり、そして作業療法学とは、この作業療法を理解する上で必要な人間の身体や心理、行動、そして人間関係などについて学ぶとともに、疾患や障害について体系的に学ぶことで作業療法に資するための学問である。

● 修得すべき専門科目と関連科目の単位 (62 単位以上)

専攻に係る授業科目の区分	専門科目 (40 単位以上)	
	<p>【A群 (作業療法学に関する科目)】 (36 単位以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作業療法概論に関する科目 ○作業治療学に関する科目 ○心身機能評価学に関する科目 ○臨床作業療法学に関する科目 ○日常生活活動・職能指導に関する科目 ○作業療法学に関する臨床実習科目 <p>【B群】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○理学療法学に関する科目 (整理番号 35 の「理学療法学」のA群に区分される科目) <p>【C群】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎・臨床医学に関する科目 ○社会福祉・リハビリテーション論に関する科目 ○健康科学に関する科目 	左のA群の区分のうち「作業療法概論に関する科目」及び「作業療法学に関する臨床実習科目」の区分を含み5区分以上にわたること
	関連科目 (4 単位以上)	
	<ul style="list-style-type: none"> ◇専攻分野「保健衛生学」の他の専攻の区分の専門科目A群に区分される科目 ◇人間発達・心理学に関する科目 ◇統計学・情報科学に関する科目 	

■ 専門科目の例 ■

【A群 (作業療法学に関する科目)】

- 作業療法概論に関する科目
作業療法概論、職業倫理学、医療倫理学、生命倫理と医療、職場管理学、作業療法管理学、作業療法研究法、多職種連携論など
- 作業治療学に関する科目
基礎作業法、基礎作業学技法、作業療法基礎学、作業運動学、作業分析学、作業指導法など
- 心身機能評価学に関する科目
作業療法評価学、身体障害作業療法評価学、運動機能評価学、内部障害評価学、精神障害作業療法評価学、精神機能評価学、神経障害作業療法評価学、神経機能評価学、発達障害作業療法評価学、老年期障害作業療法評価学など
- 臨床作業療法学に関する科目
身体障害作業療法学、ハンドセラピー、精神障害作業療法学、神経障害作業療法学、発達障害作業療法学、老年期障害作業療法学、地域作業療法学、在宅作業療法学、チーム医療論など
- 日常生活活動・職能指導に関する科目
日常生活技術学、社会生活技能演習、職業前関連活動、身体障害職能技術、リハビリテーション関連機器、家屋改造技術、義肢装具学、補装具学、障害者・高齢者のリハビリテーションケアマネジメント、高齢者の生活史など
- 作業療法学に関する臨床実習科目
臨床見学、初期体験実習、早期臨床体験実習、臨床評価実習、総合臨床実習、在宅訪問指導実習など

【B群】

- 理学療法学に関する科目
整理番号 35 の「理学療法学」の専門科目の例のA群に区分される科目

【C群】

○基礎・臨床医学に関する科目

医学概論、生理学、生化学、免疫学、解剖学、人体構造学、機能解剖学、組織学、神経解剖生理学、病理学、微生物学、薬理学、運動学、一般臨床医学、外科学、整形外科学、運動器障害学、脳外科学、脳神経外科学、画像解析学、画像診断学、内科学、内部障害学、内部障害病態学、神経内科学、臨床神経学、神経機能障害学、神経機能病態学、小児科学、小児発達障害学、小児疾病論、精神科学、精神医学、精神保健学、社会精神医学、心身医学、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、感覚器障害学、感覚障害論、皮膚科学、循環器科学、臓器移植機能回復学、公衆衛生科学、社会医学、リハビリテーション医科学、精神心理リハビリテーション論、スポーツ障害学、スポーツ生理学、言語治療学、言語病理学、神経心理学、老年医学、老年期障害学、老年期神経機能障害論、老年期心身機能障害学、老年期特性論、救急医学、医療安全管理学、予後管理医学、医用工学、リハビリテーション工学、生体力学、生体応用工学、感染制御学、行動科学など

○社会福祉・リハビリテーション論に関する科目

社会福祉論、公的扶助論、保健行政論、衛生法規、福祉法規、高齢者福祉、老人福祉、児童福祉、障害者福祉、保健福祉論、文化と環境、家族関係学、リハビリテーション概論、地域リハビリテーション学、在宅ケア論、地域福祉論、ソーシャルワーク論、ケースマネジメント論、医療とボランティア活動、就労支援論、自立支援（論）など

○健康科学に関する科目

健康科学、健康管理学、生命科学、体力科学、栄養学、レクリエーションと余暇、環境科学など